

Living the

LOTUS

Buddhism in Everyday Life

5
2017

VOL. 140

開祖隨感

見捨てない愛

夫婦の愛をぎりぎりまで突き詰めていくと、それは相手を見捨てないこと、といえるのではないのでしょうか。

見捨てないためには、許しが必要なのです。どんなに好き合った相手でも、毎日、朝から晩まで鼻を突き合わせていると、だんだんアラが見えてきます。それにいちいち目くらを立って、性格の不一致などと言いつつ、とても添い遂げられるものではありません。

それまで他人だった男女が一つになろうというのですから、初めからなにもかも分かり合えるはずがありません。どうしたら心をつ一つにして助け合い、支え合っ

ていけるようになるか、互いに努力し合い、人間として成長していくのが結婚生活というものでしょう。

最近では、結婚したくてもできない男性が増えて、「女性のほうが売り手市場で、男性が女性に合わせていかななくてはならない時代になった」などと、しょげている人がいますが、どちらかがどちらに合わせるなどと、時代によって変わるものではありません。男と女のそれぞれの特性、考え方を認め合うところから、許し合う寛容さが生まれてくるのだと思うのです。

(『開祖隨感』9, P. 78-79)

Living the Lotus
2017年5月号 (Vol.140)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かせる仏教の教えをお伝えします。

させていただく

立正佼成会会長 庭野日鏡



無限のつながりのなかで

今月のテーマである「させていただく」について、仏教の篤^{とくしんしゃ}信者として知られる工学博士^{もりまさひろ}の森政弘先生が、つぎのようにおっしゃっています。

「仏教では『させていただく』という受け止め方をするが、それは、なにごとも自分の力だけではできないからである」

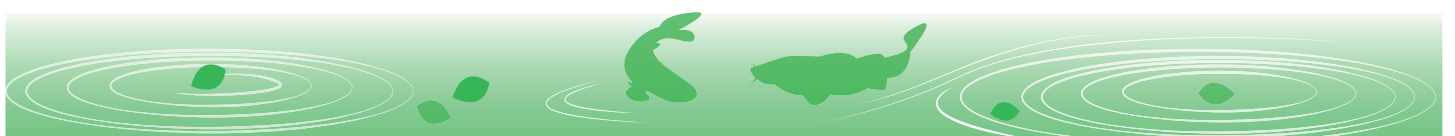
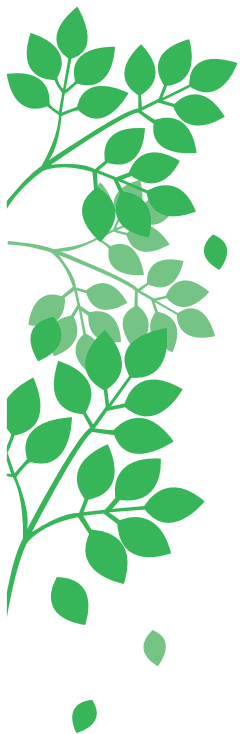
(『今を生きていく力「六波羅蜜」』教育評論社刊)

たとえば、自分の力で立っていると思っている人も、「じつは大地の支えや重力があるからであって、何をするにしてもただ一つの原因とか、自分だけの力によるのではなく、他の力などによって可能なのである」というのです。

曹洞宗の青山俊^{そうとうしゅう あおやましゅんどうし}董師は、そのことを「この世界の一切のことは、どんな小さなことも漏れることなくぶつつぎに、あいかわりあって存在する」(『泥があるから、花は咲く』幻冬舎刊)とわかりやすく説かれています。ものごとはすべて、かかわる縁の作用で生じたり減したりする—すなわち縁起^{えんぎ}ということです。このような宗教的な世界観から生まれた表現が、「させていただく」なのです。

その意味でこの言葉には、本来、私たちが常に「生かそう、生かそう」とはたらいてくださる大いなるものに対する、感謝の念が含まれているといえます。「おかげさまでさせていただくことができます」という気持ちです。

また、「させていただく」は、自分の行ないを謙虚に表現する場合にも使います。ところがそのとき、口にする側と聞く側に、気持ちのずれが生じることもあるようです。「表面的には



いねいだが、思いあがった物言いに聞こえる」とか「謙虚なようで自己をアピールしている」など、いわゆる^{いんぎんぶれい}慥無礼な態度と受けとめられることもあるのです。

もし、そのような誤解が生まれるのなら、より主体的に「させてもらいます」と伝えるほうがいい場合もあるように思いますが、佼成会ではよく使われる表現だけに、「あらゆるもののおかげさまで」という気持ちから、自然に「させていただく」といえる私たちがありがたいものです。

仏さまへの感謝

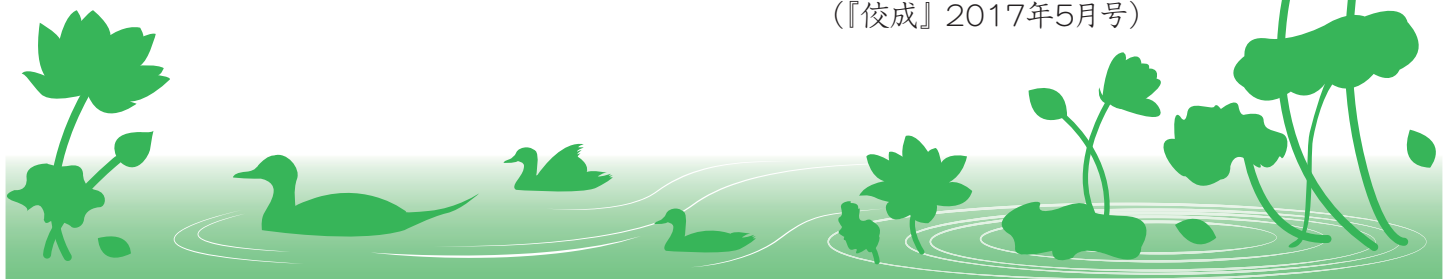
私たちは、ふだん何気なく「させていただけます」と口にします。それは、先ほどお話したように、「おかげさまでとりくむことができます」「させていただけることがありがたい」という気持ちのあらわれです。ところが、この「おかげさま」や「ありがたい」を忘れてしまうと、「している」とか「してやる」といった^{じが}自我が顔をだします。

そこで、たとえば「させていただく」の前後に「おかげさまで」や「ありがたい」を添えると、それがそのまま素直な気持ちになります。ものごとは形がとても大事であるといわれますから、繰り返しく「おかげさまで、させていただけることがありがたい」と口にしていれば、縁起の教えがしっかりと胸に刻まれ、いつでも心からそういえるようになるのではないのでしょうか。理想をいうと、そうなれば「させていただく」その感謝の実践は、^{ぶつ ぼさつ ゆげさんまい}仏・菩薩の遊戯三昧のような、とらわれのないうれしさ、楽しさにつながりそうです。

ただ、心から「させていただけます」といい、神仏への感謝の念をもってとりくんでいることでも、それが必ずしも喜びや楽しさに直結しないケースもあるでしょう。介護やボランティアの現場では、複雑な思いでとりくむことも少なくないと聞きます。ですから、そのなかで「つらい」「いやだ」と、^{よわね}弱音や^{ぐち}愚痴を吐きたくなくなる時があるのも自然なことです。

だからこそ、信仰をもつ私たちは、日ごろの生活のなかで仏さまへの^{きえ}帰依の念を^{やしな}養い、「大いなるものに生かされている自分なのだ」という自覚と感謝に目ざめることが大事なのだと思えます。

(『佼成』2017年5月号)



祖母の修行から見つけた仏さま

ハワイ教会
ジョアンナ ケイコ タナカ=クラーク

この体験説法は、2016年9月にハワイ教会オアフ道場で行われたものです。

おはようございます。立正佼成会で仏道を歩ませていただいていること、そして、本日説法のお役を頂いたことに、感謝申し上げます。

私はジョアンナ・ケイコ・タナカ=クラークと申します。私をよく支えてくれる主人と結婚して30年になり、またありがたいことに、今年24歳になる娘がおります。

2014年、私はそれまで28年間働いていた会社を、健康上の理由で退職しました。眼や主要な血管に影響がある膠原病を患ったのです。私の父は34歳で、兄は24歳で亡くなりました。2人とも、大動脈弁解離が原因でした。私の娘はマルファン症候群と診断されていますが、今のところ発症していません。

娘が生まれた1年後の1993年、肥大化した大動脈弁を交換して解離を防ぐための手術を受けました。私の術後の回復と職場復帰の早さに、医師たちは大変驚いていました。



ジョアンナ ケイコ タナカ=クラークさん

しかしここ5年ほどは、脳内の血管の解離と出血のため、私は集中治療室(ICU)に3度も入らなければなりませんでした。今はストレスを抑え、血圧を管理する必要があるため、もう働くことはできません。さまざまな薬の副作用のため、めまい、疲労感、脱力感にときどき襲われます。そんなときは、ただ横になって、安静にして気分が良くなるのを待つことしかできません。

以前と比べてとても感情的になったようで、些細なことでも涙が出ます。それも体調に関連しているのだと思います。説明は難しいのですが、体調の悪さが精神状態にも影響しています。

私の祖母は仏教を信仰していて、ハワイにある創価学会インターナショナルの熱心な会員でした。子供の頃は祖母とよく一緒に過ごしたのですが、祖母はお祈りをする理由について、家族に良いことが起きて困難や苦しみがなくなるようにするためだよ、とたびたび話してくれました。でも、私には信仰をする意味がわかりませんでした。熱心に信仰してもしなくても、痛みや災難は降りかかってくる。その反対に、誰にだって良いことは起きる。儀式も祈りも参拝も、宗教に関するあらゆるものに対して、私は何の意味も感じませんでした。

7歳か8歳の頃、足にできた腫瘍を切除するため、私は3ヶ月間入院しました。そこにはベトナム戦争で傷ついた子供たちも入院していて、私はその子供たちと同じ病室で過ごすことが怖くて、早く家に帰りたいと毎日真剣にお祈りをしていました。

子供たちは、全身に火傷の痕があったり、手足がなかつたりしました。彼らが夜の闇の中で叫ぶのを何週間も聞くのは、トラウマになりそうな、本当に恐ろしい経験でした。私は我慢しながら、家に帰りたくて毎晩一生懸命に祈っていましたが、その祈りはかなわず、家に帰してはもらえませんでした。以来、お祈りは助けにならないことがわかり、お祈りを信じるのを止めました。それが、宗教に対する幼い頃の私の考えでした。

1990年代の後半に、カレン・フジイさんが私を立正佼成会へ導いてくれました。中学1年生以来、私たちは40年以上にわたる親友です。出会う前はそれぞれ別の友達のグループにいたのですが、何かに引き寄せられるように仲良しになり、親友になりました。以前カレンさんは、「私たちは前世からの知り合いだったから、仏さまがまた2人を引き合わせてくれたのね」と話してくれたことがあります。彼女はいつも私を教会の活動に誘ってくれます。私は、彼女からさまざまなことを学んでいます。彼女はいつも明るく朗らかで、どうしたら私を笑わせたり、人生を楽しむことができるか、その方法を知っているのです。

昨年、私は法華経のアドバンス・セミナーに参加する機会を頂きました。法華経の読誦と学習、そしてセミナーへの参加を通して、私たち自身のものの見方によって、「苦しみ」、つまり私たちが「苦難」と感じる事柄を耐えることができると学びました。

私たちは、目の前の状況の中に「良いこと」を見つけて感謝できているのでしょうか。それとも、「悪いこと」や「苦しみ」やマイナス面と見えるものに意識を向けているのでしょうか。私の子供の頃の病院での体験も、もしその時の状況を違った目で見れば、違うものになっていたかもしれません。「苦しみ」や「苦難」の中に

何か味わえるようなことや興味深いこと、学べるようなことを見出せれば、それらは存在しなくなるでしょう。

また、『法華経の新しい解釈』の信解品第四の解説から、「信と解の両立の必要性」を学びました。開祖さまは、信だけでは「堅い信仰ではなく、頑固な信仰にすぎない。真の宗教は必ず理屈でもわかるものでなくてはならないのです。その理屈でわかることを解というのです」と教えてくださっています。真の力を得るためには、仏さまの教えを深く理解するよう、説法に耳を傾け、経典を読む必要があります。

たとえば、慌ただしい日常の中でのほんの些細なことに聞こえるかもしれませんが、最近病院に行ったとき、採血をする際の針の痛みをほとんど感じずに済んだことに、私は喜びを感じました。看護師さんが注意深く、また手際よく採血してくれたことが、本当にうれしく、ありがたかったのです。また、窓の外に目を向け、美しい青空や木々が見えたことも喜びでした。些細な事柄への深い感謝が湧いてきました。

人間として、私は毎日選択をしています。周囲の人々や状況に対してどう行動し、どう反応するか、ひとつひとつが選択です。法華経は、とりわけ困難な状況の中で怒りの心が生じたときに、慈悲の心でものごとを考えるようを教えています。

「怨みをもって怨みに報いず」。怨みは、私たちを悪循環に陥れます。誰かが私たちのことを否定したり無視したりしていると感じた時、自分が何故そう感じたのか、いろいろな角度から見てみることを学びました。私に原因がないのならば、そうした行為をした人たち自身が抱える問題や知識の欠如が原因かもしれません。今では、そういう人たちに対して慈悲の心で話ができるようになりました。

Spiritual Journey

自分自身や周りの人たちに関して、私は最近あることに気がつきました。私は、いつもすぐに人のことを決めつけたり、欠点を指摘してしまうのです。それは、ほとんど無意識の反応です。完璧な人はいません。どの人もそれぞれ独特の性格や考えを持っています。人に対して怒りや不快感を抱くことは、何の得にもならないことを私は学びました。わざと人に迷惑をかけるようなことをやめ、そのかわりに人々の違いを理解できるようになりたいと思います。方便を用いて自己の気づきを高める教えを、特に親しい人にお伝えしていく機会を、私は頂いたのでした。

昨年9月、サンフランシスコ教会で行われたアドバンス・レベルの教師教育に、ジョアン・オザキさんと一緒に参加しました。私は1人でいることを好むタイプです。知らない人とはあまり話をせず、自分のことばかり気になります。特に、飛行機に乗ったときにはそうです。

セミナーが終わってハワイに戻る途中、ロサンゼルス空港で慌しく飛行機を乗り継ぎました。機内で自分の座席に近づくと、周囲の席にムスリムと思われる数人の若者が座っていることに気づきました。ジョアンさんの前に1人、さらに別のムスリム風の男性がジョアンさんの後ろの席にいて、彼女の席をしきりに叩いているのです。何かもっと悪いことが起きるのではと、私は怖くてたまりませんでした。離陸後、ジョアンさんの後ろの男性がトイレに行き、その後にスカーフを被った女性が続いてトイレに立ったことで、私はさらに不安になりました。

するとその女性に続いて、もう1人の男性もトイレに向かったのです。私は、トイレに爆弾が仕掛けられているという妄想に駆られました。そして、隣の青年が私

に何かで襲いかかってきて、さらに座席を乗り越えて他の乗客を襲うのではないかとさえ思いました。恐怖に苛まれながらも、私は意を決して隣の青年にクッキーをあげようとしたのですが、受け取ってはもらえませんでした。その後トイレに行き、席に戻ろうとドアを開けると、隣の席の男性が目の前に立っているではありませんか。私は本当にびっくりしました。

私は勇気を出して隣の青年と話をしてみようと思いい、まず、お水はいかがですかと声をかけました。彼はとても素敵な声をしていました。私は青年と話し始め、自分の仏性を開こうと心がけました。彼は本当に優しい青年で、アロハのサインとハワイに住むのが大好きと教えてくれました。彼にとっては、ハワイが世界で最高の場所のようでした。

彼がサンディエゴにいたころ、「ありがとう」と言うと周りの人が面白い顔をしたことを話してくれました。ファリントン高校を卒業し、今はハワイ大学で政治学を学んでいて、大学では課外活動の指導教官の給与改善活動に関わっているとのことでした。人助けが好きで、いつかはハワイの州知事になりたい、とも話してくれました。

私は、たくさんの方がいる中で、独特の外見をしているので彼に対して恐怖を抱きました。見た目で判断して彼に失礼なことをしてしまったのではないかと思うと、恥ずかしさでいっぱいになりました。仏性によって彼の本当の姿を見ることができ、彼の幸福を心から願うことができ、とてもうれしいです。彼がいつの日か、自分が目指すような人になれることを願っています。

法華経の「提婆達多品第十二」で、どのような出来事にも理由があるという素晴らしい教えを学びました。「いかなる迫害や逆境も、耐え忍んで修行を続け

れば、それらは成仏の縁となる」というのです。つらかった病気のお陰さまで、研修に参加し、仏になる教を学ぶ機会を得たことを、ありがたく思います。

目谷教会長さん、カレン・フジイさん、ジョアン・オザキさんが私を信頼して勉強会に参加させてくださったこと、そしてジャニス・トムさんが教会で辛抱強く私をご指導くださっていることに、感謝申し上げます。この経験は本当に素晴らしいもので、今後も立正佼成会で人生の旅を続けていくことを楽しみにしています。

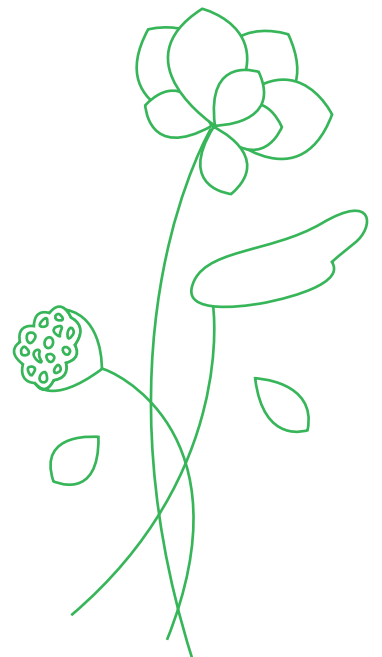
よく考えてみれば、私たちは自分の人生を予測できません。自分の人生の行く末がみえる人は、ほとんどいません。それは、人生のビジョンや目標をしっかり持っている幸運な人であっても同じです。ものごとにはさまざまな局面があり、人生の旅も予測不能です。

私の願いは、いのちには限りがあることを常に意識し、自分が頂いたすべてのものと、人生で出会うすべての人々に感謝の気持ちを持ち続けることです。些細なことにより感謝し、それらをより味わい、毎日より良い生き方を選択していくことです。その時々での選択が、未来につながっていくのです。ですから、正しく選択し、もっと「イエス」と言っていきましょう。

ご清聴ありがとうございました。



開祖さま入寂会で奉獻をするタナカ=クラークさん(右)



Childcare lifeline

何でも自分でやりたがる息子に困惑しています



5歳の息子が、何でも「自分で、自分で」と言ってやりたがります。仕事や家事で急いでいるときなどは、イライラしてしまいます。どうすればいいのでしょうか。



何でも「自分で」やろうとする自主性を持ったお子さまを育てたお母さんは、すばらしいと思います。

幼児期は自立に向かって努力をする時期です。好奇心が旺盛で、目に見えるもの、手にふれるものすべてに興味をもち、なんでもやってみようとするのです。子どもは、いつも動きまわり、とびまわって、少しも落ち着いていてくれません。そんなときは、子どもの興味を大切に育て、好奇心を受け入れ、見守ってあげてほしいものです。

幼児期に叱るのは次の2つの場合だけです。

1. 危険な遊びをしているとき
2. 社会のきまりやルールを守らないとき

幼児期は大人になる練習をする時期です。人に迷惑がかからず、危険なことでない限り、子どもにやりたいことをやらせてあげることが大切です。

急いでいるときは、「今は忙しくてゆっくり見られないから、またあとでやってみせてね」と、お子さんをお願いしてみましょう。日頃からお子さんの欲求や興味にすぐに応えてあげているお母さんならば、お子さんもお母さんのお願いを聞いてくれると思います。

幼児期の子どもにとっては、すべてが初めての経

験ですから、最初はお母さんが願うように上手にはできないかもしれませんが、その積み重ねがたくましさとなり「生きる力」となっていくのです。



子どもは何度も失敗を繰り返して成長

Point していく

何に対しても「だめ」と言い続けていると、子どものやる気を損ないます。できるだけ、いろいろな経験をさせてあげてください。失敗を喜べるお母さんになってほしいと思います。

(回答:東京家庭教育研究所)

協力: 東京家庭教育研究所

〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-12

電話 03(3381)0705

FAX 03(3381)0723

<http://www.kateikyoiku.jp/>

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に答えています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

子どもも精進している

毎日忙しい中で精一杯お子さんと触れ合っている、素晴らしいお母さんですね。お母さんが頑張っているのと同じように子どもさんも頑張っているのではないのでしょうか。

会長先生は、「みんな『仏さまのいのち』をいただいて日々仏道を歩み精進していると受けとめて世界を見ると、目に映るのはすばらしいことばかりです」（『こころの眼を開く』 P. 63）と教えてくださっています。

忙しい時こそひと呼吸して、このような視点に立って子どもさんを見ると、「自分で、自分で」と言って何でもやろうとする姿の中に、自立しようとする芽を発見し、愛おしく思えるのではないのでしょうか。急いでいてイライラする気持ちが湧いてきたら、「偉いね。ガンバレ」の一言をまずかけてみましょう。

（立正佼成会習学部監修）



Please give us your comments!



皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

Eメール：living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

感謝の心で人に尽くす

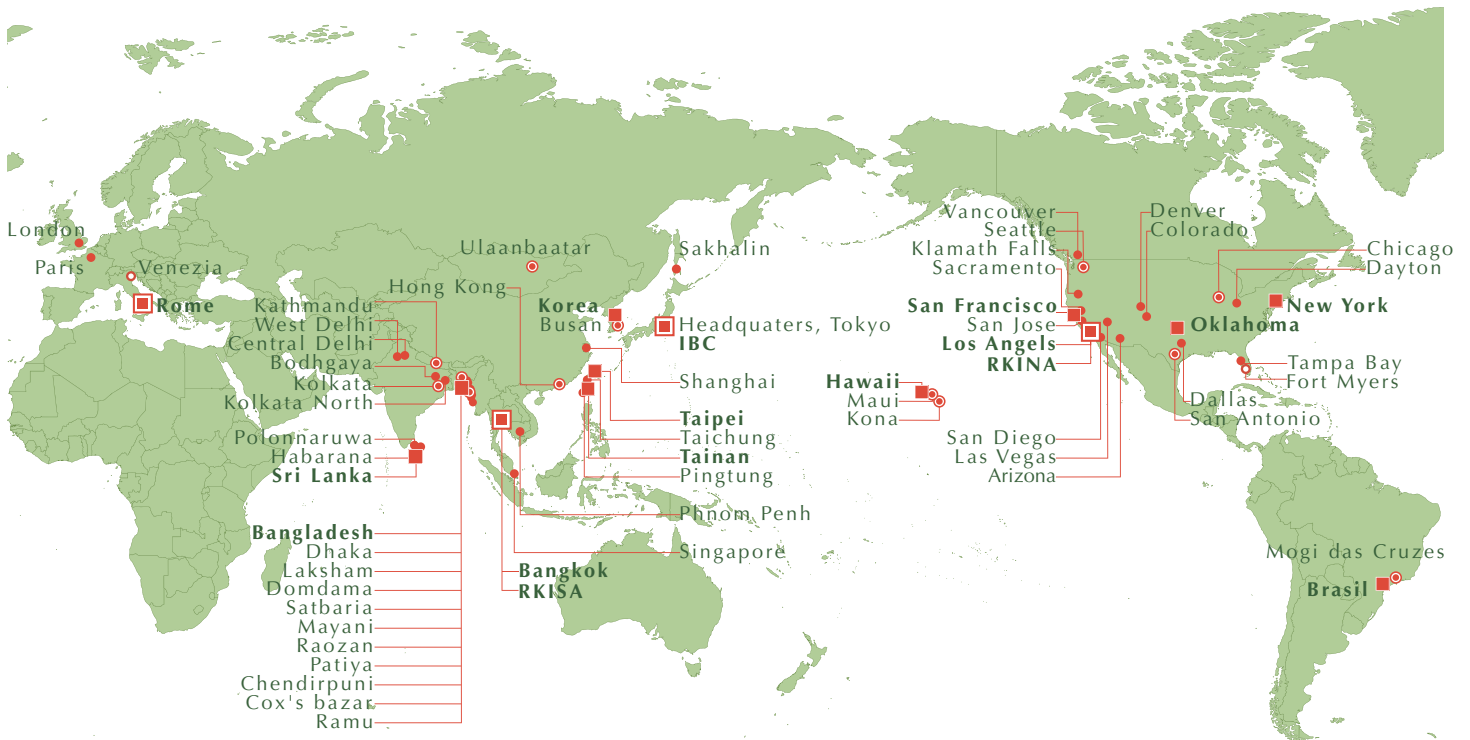
「佼成会の皆さんはどなたも『させていただく』と言いますね。人のために行動しながらも偉ぶらない皆さんの姿勢にととても感銘しています」と、あるボランティア団体の方がお話しくださいました。会員みんなが大切にしている感謝で人に尽くす姿勢を、開祖さまは人生を通して示してくださいました。

二十数年前、私は開祖さまが出席されたある宗教者の会議の場に居合わせました。開祖さまが会議室に入ってこられた時、皆さまは立ち上がって開祖さまをお迎えくださいました。その表情は庭野開祖とお会いするよろこびにあふれていました。着席された開祖さまは「本年も大きな成果をあげました。これもひとえに皆さまのご尽力のおかげさまです」と心をこめて述べられました。ご自身がなされた事を誇ることなく、あくまでお一人おひとりの実践とまごころを讃え深く感謝される開祖さまは、まぶしく輝いて見えました。

利他の実践ができるのも縁のおかげさま。これからも感謝の心で人さまに尽くさせていただきます。

国際伝道部長

水谷庄宏



Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

2017

Rissho Kosei-kai International

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A

Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.

Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261

e-mail: rkseattlewashington@gmail.com

http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.

Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745

e-mail: dharmasanantonio@gmail.com

http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.

Tel: (727) 560-2927

e-mail: rktampabay@yahoo.com

http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.

Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633

e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.

Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.

Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.

Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567

e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.

Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437

e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.

Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499

e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.

Tel: 1-773-842-5654

e-mail: murakami4838@aol.com

http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.

Tel & Fax: 1-405-943-5030

e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Klamath Falls

1660 Portland St. Klamath Falls, OR 97601, U.S.A.

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204, U.S.A.

Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419, U.S.A.

http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,

CEP 04116-060, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Fax: 55-11-5549-4304

e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,

CEP 08730-000, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongzheng District, Taipei City 100, Taiwan

Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433

http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,

Taichung City 401, Taiwan

Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 Fax: 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan

Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea

Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696

e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea

Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,

North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK**Rissho Kosei-kai of Venezia**

Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris

86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Sugunami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 Fax: 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Sugunami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 Fax: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**